7

神奈川県川崎市

カリタス女子中学高等学校

■学科等／中高一貫・普通科・女子校
■クラス数／12クラス
■生徒数／563人
■建築主／学校法人カリタス学園
■所在地／神奈川県川崎市多摩区中野島4-6-3
■工事種別／改築
■敷地面積／27,147㎡
■延床面積／19,999㎡
■竣工／2007年7月

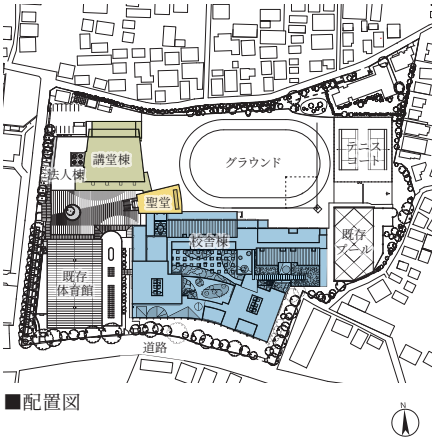
自律と交流を育む教科教室型運営方式

教育理念である「4つの心」のひとつ「学ぶ心」のため、自律した学びを育む教科教室型を採用。「交わりの心」のためホームベースを中心に生徒の居場所を確保。理科の教科センターや屋上の「理科庭園」が学ぶ楽しさを演出。

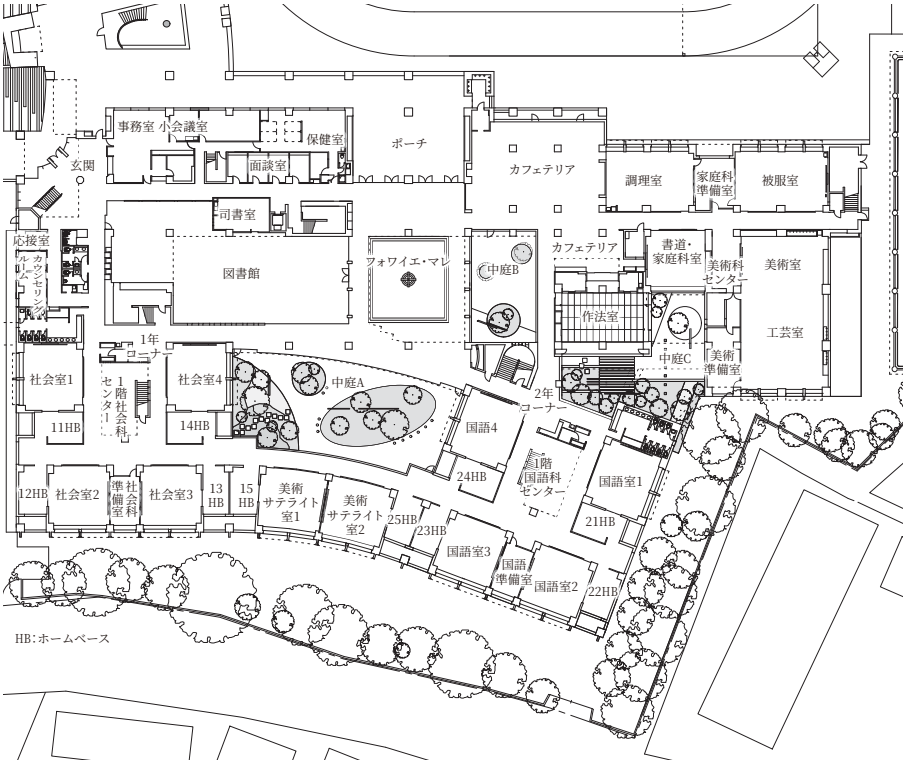
校舎全景。新校舎は環境や安全を追求した100年建築となっている。

計画に見られる指針改訂のポイント

1.主体性を養う空間の充実
2.学習・生活空間の質の維持・向上
3.理数教育の充実



■配置図



■1階平面図

1.主体性を養う空間の充実
└教科教室型のゾーニングで教科ごとに教室を配置

1　職員室前の校務センター。テーブルやカウンター、ハイテーブルといったさまざまなシーンに応じて使い分けられる家具がレイアウトされている。質問に訪れる生徒の姿が途絶えない。

2　学年インフォメーションコーナー。生徒は学年情報・全校情報ディスプレイでその日の予定等を確認して主体的に行動できる。

3　教科センター（メディアスペース）。教科学習のねらいに沿った情報発信、先生との交流、生徒の作品展示を行う。

校長の視点

教科教室型ゾーニングで主体性を育む

教室を教科ごとにゾーニングし、中心には教科センターや学年インフォメーションコーナー、教科準備室を配置しました。生徒はインフォメーションコーナーのディスプレイを見てその日の予定や教科の情報を入手、主体的に情報を得る習慣を身につけることができます。学校の中心には図書館があり、学年・クラスを超えた知的交流の場として利用されています。（写真 2、3）

校内すべてが出会いと交流の場

教科教室はホームルームとしても使われ、クラスごとのつながりを強める役割も果します。その教科教室に隣接するホームベースはクラス専用。生徒同士の関わりを育む空間です。本校では校内すべてを出会いと交流の場として捉えています。職員室前の校務センターをはじめ、教科センターやホームベース、各階のラウンジや中庭、屋上に椅子やテーブルを設置しています。教員との学習相談や学年を越えて生徒たちが会話を交わす姿をあちこちに見ることができます。（写真 1、4、6）